



# 水土里 ネット CHIBA ちば

2015  
平成27年

No.308 / 秋号



第21回美しい農村環境写真コンテスト 「秋の三島湖」 撮影場所：君津市 撮影者：茅野 一雄

## CONTENTS

十五夜キャンドルナイトin八鶴

受賞者紹介 ..... 01

農業農村整備事業関係予算概算要求の概要 ..... 02

麻生財務大臣・本川農林水産事務次官へNN予算を要望 ..... 04

第21回美しい農村環境写真コンテスト 審査会の開催 ..... 05

第21回美しい農村環境写真コンテスト 作品評 ..... 06

農業事務所だより

・大根根用水におけるカワヒバリガイへの対応 ..... 10

・県営ほ場整備事業 瑞穂地区の紹介 ..... 12

・基幹水利施設ストックマネジメント事業 清水地区 ..... 14

「中学生水の作文コンクール」千葉県地方審査会入賞作品 ..... 16

平成27年度 千葉県新規採用職員紹介 ..... 20

第38回全国土地改良大会(青森大会)に参加して ..... 22



# 十五夜キャンドルナイト in 八鶴

東金市のシンボル地 八鶴湖(はっかくこ)。

八鶴湖では湖畔を3,000本のキャンドルで包み込み  
幻想的な雰囲気の中 十五夜のお月様をお迎える  
秋のイベントが行われます。

自作の灯籠にエコキャンドルで光を作り

自然やエコについて考えるイベントでもあります。

みなさんも十五夜の月を愛でにいらしてはいかがでしょうか。



ワークショップ参加者による  
手作りペットボトル灯籠



和紙で作った  
風船型灯籠と弁天様

開催日は毎年、十五夜の日になります。

手作りペットボトル灯籠やキャンドルナイトについては八鶴湖キャンドルナイト実行委員会

TEL:0475(54)7830にご連絡ください。

同時開催の観月会については東金市観光協会ホームページ(<http://www.togane-kanko.jp/>)  
をご覧ください。

# おめでとうございます

## 平成27年 秋の叙勲

平成27年11月3日に秋の叙勲が発表されました。本会関係者からは伊藤勳氏(根木名川上流土地改良区理事長)が旭日小綬章を、三枝義男氏(茂原市新治土地改良区理事長)並びに鈴木勇氏(小櫃堰土地改良区理事長)が旭日双光章を授章されました。

旭日小綬章



伊藤 勳 氏  
元 千葉県議会議員  
根木名川上流土地改良区理事長

旭日双光章



三枝 義男 氏  
元 茂原市議会議員  
茂原市新治土地改良区理事長

旭日双光章



鈴木 勇 氏  
元 袖ヶ浦市議会議員  
小櫃堰土地改良区理事長

## 平成27年文化の日 千葉県功労者表彰

文化の日にあたり、各方面でそれぞれ顕著な功績を挙げ、本県の発展に多大な貢献をされた方々が表彰されました。本会関係者からは、齊藤正一氏(元 野田市木野崎土地改良区理事長)、松崎敏雄氏(夷隅川土地改良区理事長)、渡邊秀夫氏(天羽土地改良区理事長)の3名が受賞されました。



齊藤 正一 氏  
元 野田市木野崎土地改良区理事長



松崎 敏雄 氏  
夷隅川土地改良区理事長



渡邊 秀夫 氏  
天羽土地改良区理事長  
君津地域土地改良協会長  
千葉県土地改良事業団体連合会理事

## 土地改良事業功績者表彰

第38回全国土地改良大会(青森大会)において、土地改良事業に貢献した方々が表彰され、千葉県からは山田一夫氏(安房中央土地改良区理事長)が農林水産省農村振興局長表彰を、塚瀬一夫氏(東金市十文字川土地改良区理事長)が全国土地改良事業団体連合会長表彰を受賞されました。

### 農林水産省農村振興局長表彰



山田 一夫 氏  
安房中央土地改良区理事長  
安房土地改良協会長  
千葉県土地改良事業団体連合会副会長

### 全国土地改良事業団体連合会長表彰



塚瀬 一夫 氏  
東金市十文字川土地改良区理事長  
山武郡市土地改良協会長  
千葉県土地改良事業団体連合会理事

# 平成28年度

# 農業農村整備事業関係予算概算要求の概要

農林水産省は8月31日、平成28年度予算の概算要求を財務省に提出しました。

農業農村整備事業関係予算については、農業農村整備事業3,372億円(前年度比123%)、農山漁村地域整備交付金857億円(前年比117%)、農地耕作条件改善事業359億円(前年度比359%)を合わせて、4,588億円となり、前年度当初予算より1,000億円(前年度比128%)の大幅な増となっています。

(単位：億円)

| 区 分                  | H27年度<br>予算額 | H28年度<br>要求・要望額 | 対前年度比  |
|----------------------|--------------|-----------------|--------|
| 農業農村整備事業             | 2,753        | 3,372           | 122.5% |
| 農山漁村地域整備交付金(農業農村整備分) | 735          | 857             | 116.5% |
| 農地耕作条件改善事業(非公共)      | 100          | 359             | 359.1% |
| 計                    | 3,588        | 4,588           | 127.9% |

※計数は四捨五入のため、端数においては合計とは一致しないものがある。

## 重点事項

※各事項の下段( )内は、平成27年度当初予算額

### 1 強い農林水産業のための基盤づくり

#### (1) 農林水産業の基盤整備(競争力強化・国土強靱化)

- ① 農業農村整備事業<公共> ..... 3,372億円  
農地の大区画化・汎用化や水路のパイプライン化、老朽化した農業水利施設の長寿命化・耐震化対策を推進 (2,753億円)  
(関連対策)  
農地耕作条件改善事業 ..... 359億円  
農地中間管理機構による担い手への農地の集積・集約化を推進するため、区画拡大、暗渠排水等に加え、 (100億円)  
土壌改良をはじめとする借り手のニーズに対応した基盤整備を支援
- ② 農山漁村地域整備交付金<公共> ..... 1,243億円  
地方の裁量によって実施する農林水産業の基盤整備や農山漁村の防災・減災対策を支援 (1,067億円)

#### (2) 農林水産関係施設整備

- ① 特殊自然災害対策施設緊急整備事業 ..... 4億円  
火山の降灰被害に対応するための洗浄用機械施設等の整備やこれと一体的に行う用水確保対策等を支援 (1億円)

### 2 担い手への農地集積・集約化等による構造改革の推進

#### (1) 農地中間管理機構による農地集積・集約化

(農業農村整備事業で実施)

- ① 農地の大区画化等の推進<公共> ..... 1,312億円  
農地中間管理機構による農地の借受け・貸付けとの連携等により、農地の大区画化・汎用化等を促進 (1,089億円)
- ② 農地耕作条件改善事業(再掲) ..... 359億円  
(100億円)
- ③ 耕作放棄地再生利用緊急対策交付金 ..... 4億円  
荒廃農地を再生利用するための雑草・雑木除去や土づくり等の取組を支援 (3億円)

### 3 日本食・食文化の魅力発信と輸出促進

#### (1) 食と農を活用したインバウンドの推進

- ① 農山漁村の宝発掘・活用人材創造事業【新規】 ..... 5億円  
食と農に関する地域資源を磨き上げるための研修、地域の活動組織への人材派遣及び専門家によるフォローアップを一体的に支援 (－)
- (関連対策)  
都市農村共生・対流総合対策交付金 ..... 21億円  
子どもの農山漁村宿泊体験や福祉農園の開設、空き家・廃校を活用した交流、インバウンド需要を含めた観光需要への対応(農家民宿の改修・Wi-Fi(無線でインターネット接続が可能なシステム)の導入等)等を支援 (20億円)

### 4 人口減少社会における農山漁村の活性化

#### (1) 日本型直接支払の実施

- ① 多面的機能支払交付金 ..... 513億円  
活動組織が農地を維持していくために行う地域活動や、地域資源の質的向上を図る活動に交付金を交付 (483億円)
- ② 中山間地域等直接支払交付金 ..... 290億円  
中山間地域等条件不利地域で農業生産活動を継続して行う農業者等に交付金を交付 (290億円)

#### (2) 他省庁と連携した集落のネットワーク化の推進、定住の促進

- ① 農村集落活性化支援事業 ..... 6億円  
地域の将来ビジョンづくりや、集落間のネットワーク化により、地域の維持・活性化を図る取組を支援 (6億円)
- ② 山村活性化支援交付金 ..... 8億円  
山村の薪炭・山菜など地域資源の活用等を図るための取組を支援 (8億円)

#### (3) 都市と農山漁村の共生・対流等

- ① 農山漁村活性化プロジェクト支援交付金 ..... 63億円  
農山漁村における、農産物加工・販売施設、地域間交流拠点等の整備を支援 (62億円)
- ② 都市農業機能発揮対策事業 ..... 3億円  
都市農業の多様な機能の発揮を促進するため、都市農業制度の検討等の実施を支援 (2億円)
- ③ 都市農村共生・対流総合対策交付金(再掲) ..... 21億円  
(20億円)

#### (4) 再生可能エネルギーの導入促進

- ① 農山漁村活性化再生可能エネルギー導入等促進対策 ..... 10億円  
再生可能エネルギー発電事業による収入を、地域の農林漁業の発展に活用する取組や農業水利施設を活用した小水力発電等に係る調査設計等を支援 (10億円)  
※農村振興局分

#### (5) 鳥獣被害防止対策の推進

- ① 鳥獣被害防止総合対策 ..... 97億円  
鳥獣被害対策実施隊の増設・捕獲活動の実施、侵入防止柵の設置、捕獲技術高度化施設や処理加工施設の整備、ジビエ活用の推進等を支援 (95億円)
- ② シカによる森林被害緊急対策事業 ..... 5億円  
シカによる森林被害が深刻な地域において、国と自治体の広域的な連携の下、シカの計画的な捕獲・防除等を緊急的に支援 (2億円)

# 麻生財務大臣・本川農林水産事務次官へ NN予算を要望

水土里ネット千葉 総務部



大臣執務室にて、水利施設の老朽化などの説明を行う。

去る10月23日、財務省において麻生太郎財務大臣に対し、平成28年度概算要求に係る農業農村整備事業予算の確保について要望活動を実施しました。

当日は、森英介理事（衆議院議員・両総土地改良区理事長）に案内され大臣室に。本会林和雄会長から、地域の実情を説明しながら土地改良の必要性を強く訴え、大臣に理解を求めました。公務ご多忙にもかかわらず、20分も時間を割いて私たちの要望に耳を傾けていただき、大臣は、「財務省としてはプライマリーバランス（基礎的財政収支）を2017年に半分、更に5年後にはチャラにする。おっしゃることは分かるが、この流れを変えるのは難しい。新規整備は理解を得ることは難しいが、更新整備はやっていかないと、と思っている。生産基盤を良くして若い人が後を継ぐことは大事である。」と理解を示されました。

そのあと、農林水産省に赴き、本川事務次官に同様の説明をしたところ、「財務大臣に地元の声を届けていただくことは、誠にありがたい。農林水産省としても予算確保に努めているところであり、27年度補正予算も計上することを考えている。」と、心強いコメントをいただきました。

## 今後の会議・研修会の開催予定

### 平成27年度水土里ネット役職員研修会

土地改良区役職員の皆様方を対象にした研修会を開催します。

- 日 時 平成28年2月4日(木) 13:00  
～5日(金) 12:00
- 場 所 鴨川館(鴨川市西町1179番地)  
TEL 04-7093-4111
- 受講対象者 土地改良区の役員及び職員

### 第59回通常総会

本会の第59回通常総会を下記のとおり開催します。

- 日 時 平成28年3月18日(金) 14:00～
- 場 所 千葉県土地改良会館 4階大会議室  
(千葉市美浜区新港249番地5)

第21回

# 美しい農村環境 写真コンテスト

## 審査会の開催

水土里ネット千葉  
管理指導部

去る7月27日、第21回美しい農村環境写真コンテストの審査会が開催されました。このコンテストは「誰もが住んでみたい美しい農村環境」をテーマに毎年開催されており、今回は63名の方から142点の作品をご応募いただきました。ご協力いただいた皆様には心よりお礼申し上げます。審査の結果、最優秀賞(千葉県知事賞)・県土連会長賞等の計17点の入賞が決定されました



入賞作品は千葉市内にありますQiball(きぼーる)1階のアトリウム「きぼーる広場」にて8月17～18日の2日間展示されました。

平成27年8月17日～8月18日  
千葉市中央区中央 Qiball(きぼーる)アトリウム

展示



また8月18日には13:30よりホテルプラザ菜の花にて表彰式が執り行われました。



第21回

# 美しい農村環境

## 写真コンテスト 作品評

講評 特別審査員 田村民雄氏  
(日本写真文化協会)  
(撮影者:敬称略)



最優秀賞(千葉県知事賞)

### 「田植式」

撮影場所：香取神宮 御神田  
撮影者：小栗山 秀男

御田植祭の情景を、アングル・構図の良い作品に仕上げております。桜の花が画面を引き立てております。神主さんの立ち位置がもう少し画面内に入ると良かったですね。一年越しの成果ですね。



千葉県土連会長賞

### 「かかしの学校」

撮影場所：我孫子市  
撮影者：上出 善治

的確なレンズワークで画面に奥行き感、青空と白い雲が広がり感を出し、斜光線で案山子の立体感を出しております。スズメ達もこんなに可愛い案山子では逃げ出さないのでは。



特別賞【千葉県農村振興技術連盟賞】



「夏の風物詩」

撮影場所：八街市 撮影者：越川 美智子

非常に涼しさを感じる透明感ある作品です。逆光での撮影で水の表情が良く表現されております。水を得て生き生きとした手前の里芋の葉がしっかりとした画面構成に役だっております。

特別賞【千葉県多面的機能推進協議会賞】

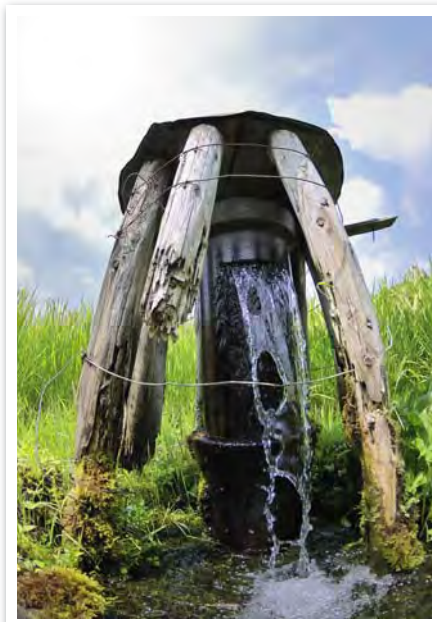


「早苗田をゆく」

撮影場所：大多喜町 撮影者：石井 昌良

のどかなローカル線の情景が良く写し出されております。黄色い電車と早苗田と木々の緑、鎮守様の鳥居の赤のバランスを考えて撮った作品ですね。空は半分にした方が構図的にしっかりします。

特別賞【ちば水土里支援パートナー賞】



「こんこんと湧くや」

撮影場所：君津市小櫃 撮影者：勝間 憲一

朽ちた自噴井戸を支える柱が、年代を感じる写真です。水の大切さは万人共通ですね。何年前の井戸かわかりませんが、当時は生活そのものの井戸だったのでしょうか。写真評というより、歴史的価値観を評価したいと思います。

金賞



「田んぼアート」

撮影場所：山武市松尾町 撮影者：坂倉 徹

今や田んぼアートは農村地方の定番ですね。農業に目を向けてもらう為なのか、農業に従事する人の癒しなのか。梅雨の晴れ間の撮影、良く撮れておりますが、もう少し左右に広く撮った方が画面に安定感が出ます。

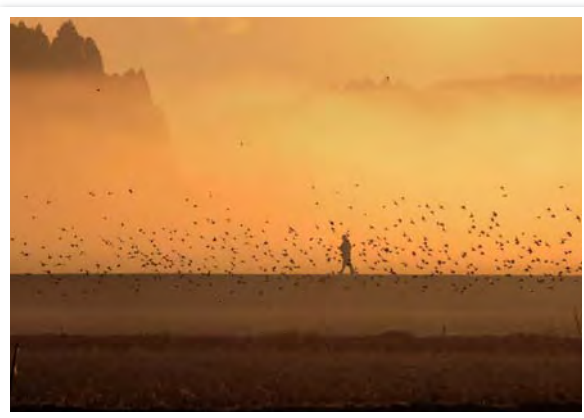
## 銀賞



### 「大地に挑む」

撮影場所：長柄町 撮影者：牧元 晴美

各地で子供たちに田植えを体験させる行事が行われております。我が子を撮った写真でしょうか。ワイドレンズで大胆に画面いっぱいに、表情・動作を撮っております。奥の友達の様子が奥行き感を出しております。



### 「朝の散歩」

撮影場所：いすみ市 撮影者：波多野 保

霧の朝の散歩道の作品ですね。日の出前のセピア色の情景が画面いっぱいに広がり、霧に煙った背景の森が印象的です。散歩する人の気配を感じ、一斉に飛び立つスズメをタイミング良く撮っております。

## 銅賞

### 「のどかな水田」

撮影場所：柏市手賀付近  
撮影者：渡部 美智子

水門近くに集まってきた白鳥の親子を、後方に水田を配し、遠近法の構図でしっかりとした画面に仕上げしております。タイトル通りののどかな水田風景の作品ですね。水路門の画面右側の部分は無い方が良いですね。



### 「初めての田植」

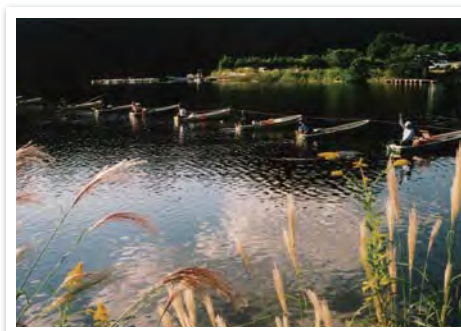
撮影場所：市原市島野  
撮影者：池嶋 清

田植え神事の一駒でしょうか。今、各地の小中学校で、農業の大切さを学ぶ一環として、田植えを実践させるところが増えております。初めての田植えに挑戦する子供たちの表情をもう少し表現できると良かったですね。

### 「秋の三島湖」

撮影場所：君津市三島  
撮影者：茅野 一雄

光の捉え方、特に逆光に照らし出された背景の処理が良いですね。多少凜々の状態の湖面に、青空と白い雲が表現されております。手前のススキの穂が遠近感を感じさせます。



佳作



「わんぱく」

撮影場所：旭市 撮影者：嶋田 洋

子供たちは家に帰ってお母さんに叱られなかったでしょうか。この頃はめったに見る事の出来なくなった光景ですね。巧みなレンズワークで、怖いのか気持ち悪いのか、好奇心の一瞬の表情をチャンス良く撮った作品です。



「とうせんぼー」

撮影場所：香取市山田 撮影者：西宮 明

今ではめったにお目にかかる事の無くなった情景。ワイドレンズで極端なローアングルで興味本位の人々を背景にいれて撮ったこの写真は、非常にユーモアのある作品に仕上げられています。背景の方々の顔を全部入れたかったですね。



「ハウスのむこう……」

撮影場所：柏市沼南 撮影者：高宮 絹子

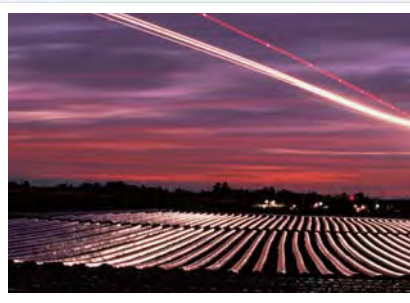
風のいたずらでしょうか。折角出てきた野菜の芽を心配そうに見入る農夫の姿を、望遠レンズで撮った作品ですね。この写真から農夫の表情を計り知ることはできませんが、仕草に、野菜に対する愛情を感じられます。



「黄金の田園」

撮影場所：印西市 撮影者：新田 幸雄

暮盤の目のように整然とした田園風景を逆光で撮った作品ですね。これから農作業に向かうのか帰路に着くのか、静寂な空気の中にトラクターのエンジン音が聞こえてきそうな写真です。



「輝き渡る」

撮影場所：成田市十余三 撮影者：八代 光則

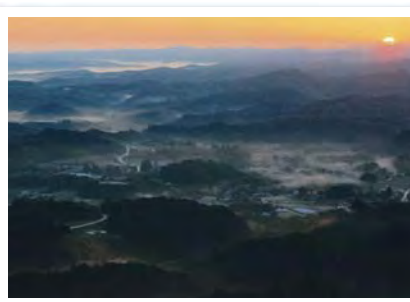
わずかに残る茜色の空の明るさと、飛行機のライトに照らされたビニールハウスを幻想的に表現した作品です。カメラ機能を熟知した撮影で、画面に飛行機の光跡を巧みに入れて動きのある構図に仕上げられています。



「棚田盛夏」

撮影場所：鴨川市 撮影者：川嶋 康昭

刈入れ間近であろうか。僅かに色づいてきた棚田の田園風景を、逆光で撮った作品ですね。これから作業に行くのか帰るのか、この方の立ち位置がもう少し右上に来た時が、より良いシャッターチャンスだったと思います。



「上総丘陵の黎明」

撮影場所：君津市鹿野山 撮影者：小宮 晃

霧に浮かぶ上総丘陵を目の前にした時、さぞ興奮した事と思います。このような情景はめったに出会う事はありませんね。この情景の中で、ポイントを絞って撮ればもっと素晴らしい作品になったと思います。広く撮り過ぎましたね。

# 大利根用水におけるカワヒバリガイへの対応

海匠農業事務所

カワヒバリガイは、殻長が最大で3~4cmほどの大きさの二枚貝で、岩など固いものに付着する性質がある特定外来生物です。大利根用水の開水路部においても、数年前から大量発生が確認されており、通水時期の終了とともに発生する腐敗臭に苦慮しているところです。有効な根絶策は確立されていないことから、発見次第、除去するという対応を余儀なくされています。



カワヒバリガイ



カワヒバリガイの発生状況

## 1 大利根用水について

大利根用水は、東庄町の笹川揚水機場を起点とする総延長約55kmの用水路であり、旭市、匝瑳市、東庄町、横芝光町の約9,200haの農地を潤しています。カワヒバリガイの発生は、コンクリート三面張構造である幹線用水路部で確認されています。

## 2 カワヒバリガイの除去について

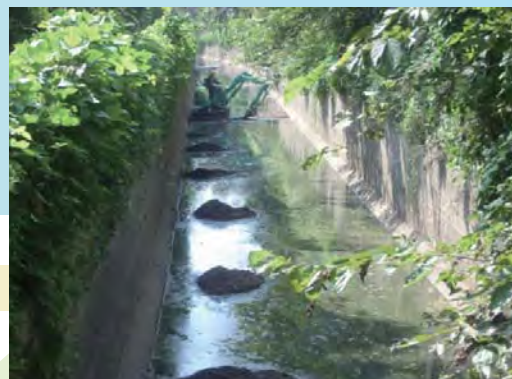
カワヒバリガイは、乾燥状態になると数日から一週間程度で死滅するといわれています。このため、除去作業は例年8月下旬の通水終了後、速やかに行います。また、大利根用水におけるカワヒバリガイの発生量は年毎に異なりますが、発生すると、水路壁面や底面が覆い尽くされるような状況になります。このため、除去作業は人力作業と機械作業を併用し、行っています。



カワヒバリガイの発生状況(水路底部拡大)



人力による除去作業



機械による集積作業



土のう袋への詰込作業



詰込作業後の土のう袋

除去したカワヒバリガイは水路内で集積され、大型の土のう袋に詰め込まれます。土のう袋に詰め込まれたカワヒバリガイは、水路内において小運搬作業を行った後に、水路外に搬出されます。



小運搬のための積込作業

### 3 おわりに

カワヒバリガイの被害を拡大させないために必要なことは、次のとおりです。

- 1) 発生状況の把握に努める。
- 2) 発見を確認したら、即座に駆除する。
- 3) 生きたままの移動は行わない。

用水の安定供給と施設の適切な維持管理のために、カワヒバリガイの根絶策が早期に確立されることを切望しています。

農業事務所だより

# 県営ほ場整備事業 瑞穂地区の紹介

山武農業事務所

瑞穂地区は、千葉県ほぼ中央に位置する上総北総台地の一部に係る、九十九里平野の西側谷津田であり、大網白里市の西部を中心に、隣接する茂原市を一部含む水田地帯です。水稲単作経営が中心ですが、ほ場整備実施前は道路・水路は皆無に等しく、田越しの用排水や出入りを行っている水田が多く、大型機械の導入が出来ず、営農に多大な労力と時間を費やしている状況でした。

大規模営農を希望する営農意欲のある農家が存在することから、将来の農業生産を担う効率的かつ安定的な経営体を育成し、必要となる生産基盤の整備を一体的に実施することにより、高生産性農業の展開が見込まれる大規模水田農業を着実に推進するとともに、優良農地を将来にわたり適切に維持・保全することで、食料自給率の向上、農業の多面的機能の十分な発揮に資することを目的とし、平成16年から平成28年にかけて事業が実施されています。



事業実施前(1970年)



事業実施後(2015年)

## 瑞穂地区チャレンジ水田について

瑞穂環境保全会及び瑞穂工区が主体となり、瑞穂地区内にある体験学習用水田にて瑞穂小学校5年生による水稲体験学習会が平成19年から毎年実施されています。春には田植えを、秋には稲刈りを手作業で体験します。今年は田植えを5月27日に、稲刈りを9月24日に、両日とも晴天に恵まれ、瑞穂小学校5年生89名とともに実施することができました。当事務所の職員も11名が参加し、小学生と一緒に並んで田植えや稲刈りを体験しました。稲刈り後にはみんなが一生懸命作ったお米を事務所の職員にも配布してもらい、美味しくいただきました。

なお、当活動は「多面的機能支払交付金」の活動計画の一環として行われています。



(1)稲刈り前のほ場



(2)稲刈り体験中



(3)稲刈り体験中



(4)刈り取れなかった分はコンバイン

# 基幹水利施設ストックマネジメント事業 清水地区

長生農業事務所

本対象施設である清水堰は、二級河川南白亀川の茂原市清水地先に位置し、茂原市、東金市、大網白里市の一部を受益(水田154.7ha)とするかんがい用水目的の堰です。

昭和7年に南白亀川農業水利改良事業で築造され、その後昭和30年に中小河川改良事業で更新(補償)し、昭和56年には農業用河川工作物応急対策事業にて、洪水吐ゲート(B3.5m×H1.6m)5門、土砂吐ゲート(B3.0m×H1.6m)2門の改修が実施され現在に至っています。

その後の適切なる管理にもかかわらず、近年開閉機の不具合により開閉不能やゲートの腐食など著しい老朽化がみられます。特に洪水時の開閉操作の不具合は災害や事故の危険性があるので早急に改修し、災害を未然に防ぎ、利水、治水の両面での機能回復させることが急務です。

これらのことから、ゲートの改修及び頭首工コンクリートの補修を行うことにより、維持管理費の軽減また施設性能の回復を図ることで、施設の長寿命化を図りライフサイクルコストの低減を実現させるものです。



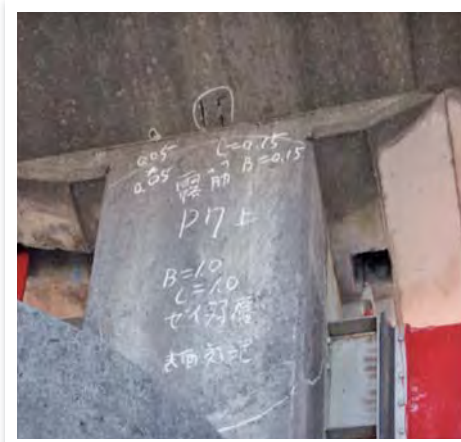
- 事業主体 千葉県
- 事業工期 平成27年度～平成29年度
- 事業費 200,000千円
- 工事概要 躯体補修(L=37m) N=1式  
洪水吐水門改修(ローラーゲート) N=5門  
土砂吐水門改修(ローラーゲート) N=2門



躯体コンクリートの剥がれ及び鉄筋露出



▲柱部



▲天井裏部



▲鋼製扉体の腐食状況



▲腐食と錆つきで、動かない  
ローラーゲートのローラー



◀清水堰 (上流側より)

今年度は実施設計を行い、次年度・次々年度で工事の施工を予定している。

## 「水の日」関連行事

# 「中学生水の作文コンクール」 千葉県地方審査会入賞作品

千葉県総合企画部 水政課

「水の日」(8月1日)は水資源の有限性、水の貴重さや水資源開発の重要性等に対する国民の関心を高め、理解を深めるため、昭和52年に定められ、平成26年に施行された「水循環基本法」において「国民の間に広く健全な水循環の重要性についての理解と関心を深める日」として法定化されました。例年、「水の日」を初日とする8月1日から7日までを「水の週間」として、水に関する様々な啓発行事が全国的に実施されています。

「全日本中学生水の作文コンクール」は「水の日」の行事の一つとして、「水について考える」をテーマに、次代を担う中学生を対象に、国と都道府県の共催で実施されてきました。37回目となった今年は、県内の中学校6校から、自らの経験や学習した内容を基に、水資源、用水供給への理解、水循環など、様々な視点でまとめられた472編の応募があり、その中から、特に優れた作品9編を千葉県地方審査会において選定し、去る8月4日に表彰式を行いました。

ここに、最優秀賞及び優秀賞の作品3編を、原文のままご紹介します。また、その他の入賞作品につきましても千葉県ホームページに掲載しておりますので、こちらもお覧になってください。

URL : <http://www.pref.chiba.lg.jp/suisei/sakubun/index.html>

千葉県は広い県土と豊かな自然に恵まれているものの、県内の河川は流域面積が小さいことなどから、水資源に関しては決して恵まれているとは言えません。このため、必要な水の約3分の2を利根川に依存しています。利根川で進められている水源施設の完成にはまだ時間を要するため、十分な水が安定的に確保されているとは言えない状況です。

そこで県では、水源地域の方々のご理解、ご協力をいただきながら、水源施設の建設を促進し、安定的な水の確保を図るとともに、雨水や汚水処理水の再利用等、水を大切にする節水型社会を目指しているところです。

中学生の優れた作文をご覧いただき、私達が利用している水について考えていただくきっかけとなれば幸いです。

## 最優秀賞

## 水を守る人

昭和学院中学校 1年  
櫻井 晴哉



僕の家の近くには、たこのような神殿のような、大きくて奇妙な形の建物があります。小さい頃からずっと気になっていたこの建物の事を、ぼくは小学校四年生の夏休みに社会科自由研究で調べました。

この建物は船橋高架水槽といって、水を高く汲み上げ、高低差を利用し水の流れる勢いを付け、広い地域に水を届けるための重要な施設です。調べるために、ぼくは千葉県水道局の職員さんに電話やメールで質問をしました。最初に連絡をした時は、見ず知らずのぼくが突然質問をして、仕事のじゃまをしても良いのか迷いました。でも思い切って連絡してみたら、忙しいはずなのにぼくにも理解出来るように言葉を選んで、ていねいに説明をして下さいました。更に、分かりやすいようにと図を描いて資料を用意し、家に送って下さいました。教えて頂いた後、ぼくは水道局の職員さんは、「水を守る人」だと強く感じました。この時にまとめた自由研究のファイルはぼくの大切な宝物です。

調べてからももうすぐ三年が経ちますが、ぼくはその時に教わったことを今も忘れていません。掃除でバケツに水を入れる時は、入れすぎないように気を付けます。もちろん水道のじゃ口もきちんと締めます。絵具のパレットや上履きを洗う時は、出来るだけ水を流しっぱなしにしません。お風呂に入る時やプールで泳ぐ時は、安全な水がたっぷり使えて、幸せでありたいと感謝します。「お水を大事にしてください。」とおっしゃっていたあの職員さんにも読んで貰えたら良いなあと思ひながら、ぼくはこの作文を書いています。

「水を守る人」のおかげで、日本では安心して水道を使えます。ところが、学校の図書館で借りた本を読んで、他の国では水を求めて争いが起こる所もある事を知りました。また、雨がほとんど降らず、いつも水が不足している国がある事も知りました。じゃ口をひねれば水が出るのが普通だと思い込んでいたので、本を読んでぼくはショックを受けました。そして、どうすれば争いが無くせるのか、自分なりに考えました。

水で争う地域を平和にするためには、日本の水道局の優れた技術を生かして、困っている国に水道の施設を作る手助けをすれば良いと思います。それと同時に、その施設を長く大切に使い続けられるように、整備の知識も現地のの人に教える必要があります。更に、水道の利用者による話し合いの場を設けて、みんなが協力する事で安全な水を維持できるような仕組みが作れば、争う必要がなくなります。また、いつも水が不足している地域には江戸時代に東京で作られた玉川上水のような水路が必要です。水資源が豊富な国も含めて世界中が協力し、国境を超える水路を作れば、渴いた土地が作物の育つ農場へと変えられます。そうすれば、食べ物が増えるので、争いの原因も減らせるはずで、そして、新しく作られる水道の施設は、新たな「水を守る人」を育てます。水道が普及すれば、毎日何時間もかけて重い水を運ぶ仕事をしている子どもも学校に行く時間が作れて将来の夢に向かって勉強ができるようになります。国や人種に関わりなく、地球上の全ての人々が安心・安全な水を使えるようになれば、みんなの生活が安定して幸せになり、きっと日本に住むぼくらももっとおいしくお水を飲むような気がします。

ぼくにとって船橋高架水槽とは、家の近所にあるただの建物ではなく、水の大切さを毎日必ず思い出させてくれるものであり、「水を守る人」のシンボルです。じゃ口をひねると出てくる水には、「水を守る人」達の努力や気持ちがたっぷりと含まれている事を忘れずに、ぼくはこれからも水を大切に使い続けます。

優 秀 賞

## 香川の水事情を聞いて

八千代松陰中学校 3年  
加藤 咲希



私は、母の実家である香川県で生まれました。今でも年に数回、帰省しています。私は香川が大好きです。その香川は、瀬戸内海に面していて、暖かい気候でとても過ごしやすいところです。高台にある丸亀城から街を見下ろすと、太陽に反射してキラキラと輝く場所が、いくつか見えます。それは「ため池」です。

香川県は、温暖な気候ですが雨が少なく、四国山脈に降った雨が、瀬戸内海に流れ出るまでの距離が短く、土に浸み込むことが少ないので、水不足になりやすいのです。その水不足を解消するために、江戸時代から、ため池が作られました。県内には、一万五ヶ所ものため池があるそうです。

夏休みに帰省すると、水不足の情報をよく聞きます。祖父によると、水不足がひどい年には、時間を決めて、水を止める「断水」をすることもあったそうです。そうすると、「断水」の時間中にはトイレにも行けないし、食事を作ることもできず、レストランなど、多くの商売にも、支障がでてしまいます。水がない生活は、本当に困ります。祖父が言うには、なにより困るのは、米や野菜などの農作物の栽培に影響がでることだそうです。

香川の実家の前にも「かりまた池」というため池があります。祖父は、数年前に水利組合の役員をしていたそうで、重要な仕事の一つに、農作物の育ち具合や天気予報を見ながら、池の水位を調節するということがありました。水位が異常に下がれば、付近一帯の田んぼや畑に、十分な水を入れることができずに、その年の作物に大きな被害を与えることになるのです。だから、いつも池の水位を気にしていたそうです。私の大好物の讃岐うどんも、こうして、ため池があるおかげで、おいしい小麦ができ、うどんが作られ、名物となったようです。

また、香川の水源は、高知県にある、「四国のいのち」と呼ばれている早明浦ダムですが、以前は、夏場になるとたびたび渇水になり、ダムの底に沈んでいた旧村役場が、姿を現したこともあります。なので、香川では、夏になると、テレビの天気予報などで、早明浦ダムの貯水量が表示されます。この早明浦ダムから、水を引くために作られたのが、香川用水で、昭和53年に完成しました。この香川用水は、高知県の早明浦ダムに貯えられた水を徳島県の池田ダムに入れることにより、香川県に入ってくるので、両県からの理解と協力による「友情の水」とされ、県民の命の水となりました。最近はそれほど深刻な水不足ではないようですが、香川ではいつもそういう深刻な水不足を想定した取り組みがなされています。

このように、祖父の話や、香川の水源について知ると、香川において「水」は千葉に住む私たちよりも、はるかに大切に思われ、昔からいろいろな努力がされてきたことがわかりました。また、他県との協力があったの「いのちの水」なので、「水」に対する感謝の気持ちを感じることができました。

香川の水事情を知って、私にできることはまず、普段からこまめに蛇口を止めたり、シャワーを出しっぱなしにしないなど、「節水」を心掛けることだと思いました。そして、当たり前「水」が出てくるのではなく、もし「水」が出てこなければどうなるんだろう、と想像し、感謝の気持ちを持ちながら、大切に使うことが重要だと思いました。

## 優 秀 賞

## 頼もしい仲間

八千代松陰中学校 3年  
中山 小都里

「ザザザー！ドーン！ザバザバー！」

とてつもなく大きく、みがきこまれた様につるんとした一枚岩の表面を、しぶきを上げて流れ落ちる大量の水に圧倒される。

「粟又の滝」は房総一の大滝だそうだ。深い緑の滝つぼに落差三十メートル、長さ百メートルを絶え間なく滑り落ちる澄んだ水には何とも言えない豊かな気持ちになる。きれいな水がとてつもなくたくさんたくさんあるのだ。本当にぜいたくな気持ちだ。

観光協会のホームページにもあったおすすめの立ち位置でカメラを構える。紅葉と一緒に楽しめるベストアングルとあるが、ホームページには写らない、水しぶきよりもっと細やかな霧のシャワーをたくさん浴びた。霧のさわやかなにおい、大きく吸い込むとひんやりして何とも美味しい！

十一月の遅い紅葉を楽しみに家族と養老溪谷へ来ていた。

弟はおどけたしぐさで写真に納まろうと岩伝いに滝の流れの真下に近づいて、遠くから大きく手足を振っている。母と姉は谷底から見上げる紅葉と一層高い秋の青空のコントラストにうきうきとはしゃいだ様子。もちろん私が一番わくわくしてる！夏なら絶対に泳ぐ！想像したらまた豊かな気持ちになる。

真夏の暑い日にたっぷりのきれいな冷たい水に飛び込む。底まで潜って水面を見上げたらどんなだろう。

「日本は水の国だなあ」父の声に私もうなづく。

世界には水を手に入れにくく、飲み水が貴重な国が多いと聞く。雨水や塩分の多い井戸水を飲まなければならず、そのための病気も多いという。子供が水くみのために何十キロもの距離を歩かなければならない。

私なら雨水や塩水はととても飲めない。水に恵まれた環境で育って、水の大切さを感じる事は難しい。でも、もしこの山奥の溪谷に人がたくさん住んで生活排水を一斉に流したらあつと言う間もなく、水は濁ってしまうだろう。食べ残しの味噌汁を流しに捨てたなら、魚が住める水に戻すには何百リットルもの水が必要だと習った。

汚れた水を飲めない私達は、泥水を真水にする技術に力を入れてきた。

夏に東京都江東区の有明水再生センターを見学した。再生センターに流れ込む下水は、最初は卵が腐ったような強烈なおいがした。ここでは、ごみを取り除き汚れを分解し微生物と分離することで、最後にはきれいな真水に替える作業が行われている。

おもしろいことに、この水を利用して魚が飼われていた。下水が温かく、汚れが除去されているため熱帯魚が心地良く生きられるそうだ。職員さんが持ち込んだものがどんどん増えて、透明な真水の中を気持ち良さそうに泳いでいた。

この技術がもっと進めば、私の住む街の近くの川も粟又の滝のような透明な水になるかも知れない。でも、案内をして下さった職員さんはこうも言っていた。

「川をきれいにするには一人一人が生活排水に気を配ることが大切です。米のとぎ汁や油を下水に流さない等の少しの気遣いが、実は一番効果があるのです。」

川への少しの気遣いと技術の進歩の両方が揃ったら、身近な川も透明な自然の小川に戻る日がくるかもしれない。想像すると何だかわくわくする。

粟又の滝自然遊歩道はたくさんの人で賑わっている。清流に沿った小道を紅葉を楽しみながら思い思いに散策している。この一人一人が、川をきれいに水を大切にと思って暮らせば、水と人がもっと近くて良い関係になるだろう。そう思うと、ここで溪谷の自然を楽しんでいるたくさんの人達がととても頼もしい仲間だと思えて嬉しくなった。

# 第38回全国土地改良大会(青森大会)に参加して

大会テーマ

土地改良の路繋ぎ明日への確かな途拓く  
～あづましの風流れる青森大会～

水土里ネット千葉  
吉橋 勇一

10月14日から16日にかけて、全国土地改良大会青森大会に参加しました。

大会初日の14日は、りんごの生産量が県内第2位の生産量を誇る青森市浪岡を受益地(278ha)とする畑地帯総合整備事業 野沢2期地区のホタテ貝殻を有効利用したりんご園地農道の視察を行いました。狭い未舗装道をアスファルト舗装にすることで荷痛み防止、農作業や出荷の効率化を図り、さらに青森県特産の「ホタテ」から発生する貝殻を有効活用した「ホタテ貝殻入りアスファルト合材」を使用することで、産廃処理することなく環境負荷に貢献しておりました。



畑地帯総合整備事業 野沢2期地区  
ホタテ貝殻を有効利用したりんご園地農道視察

15日には、青森市の新青森県総合運動公園マエダアリーナにて全国の農業農村整備事業関係者約3,500名が参加し、全国土地改良大会青森大会が開催されました。

開催地である青森県土地改良事業団体連合会の野上会長、主催者の全国土地改良事業団体の二階会長の挨拶がなされ、開催地元を代表して三村知事から歓迎の言葉がありました。また、来賓として、伊東農林水産副大臣から祝辞がありました。



全国土地改良事業団体 二階会長挨拶

その後、多年にわたり土地改良事業に貢献された方々が表彰され、千葉県からは安房中央土地改良区の山田一夫理事長が農林水産省農村振興局長表彰を、また、東金市十文字川土地改良区の塚瀬一夫理事長が全国土地改良事業団体連合会長表彰を受けられました。

次に基調講演として、農水省農村振興局・室本次長から「土地改良は国土づくり」として、青森の土地改良を例に国づくりの歴史が紹介され、土地改良こそ真の「国づくり」とであると説明がありました。

また、青森県・三村知事からは、青森の農林水産物の大々的な紹介がなされ、環境を「公共財」として位置付け、農林水産業や農山漁村の基盤づくりのための投資を通じ環境保全を図る「環境公共」の推進について説明されました。

また、東北の岩手、宮城、福島3県の土地改良事業団体から「東日本大震災、その後の新たな芽生え」ということで次の基調報告がありました。

- 「工房めぐ海」等の加工・販売といった6次産業化への取組み等(岩手県土連)
- 水土里ネット体制の構築、地域エネルギー・再生可能エネルギーの活用等(宮城県土連)
- 地域の営農環境を維持していく中心的存在として土地改良区の関わりを期待等(福島県土連)  
さらに青森県内の優良事例地区紹介として2改良区の事例紹介がありました。
- 基盤整備を契機とした力強い農業の展開(北三沢土地改良区)
- 農と歴史を繋ぐ里づくり(鬼沢檜木土地改良区)

その後、青森県営農大学の卒業生と在校生4名により、「土地改良の路繋ぎ明日への確かな途拓く」に思いを馳せ、魅力ある農業農村の明るい未来を確かなものにしていくため、農業農村の礎である「水・土・里」を健全な姿で次世代に引き継いでいく。と高らかに宣言されました。

最後に次期開催地である石川県土地改良事業団体連合会長から挨拶があり、閉会となりました。

翌16日は、小水力活用農村活性化発電施設整備事業  
三本木地区の小水力発電施設を視察しました。本発電



小水力活用農村活性化発電施設整備事業  
三本木地区 小水力施設視察

施設の稼働による年間発電量は495MWhが見込まれ、一般家庭の年間消費電力量105戸分、原油量ではドラム缶637本分に相当し、スギ1万2千本分の二酸化炭素削減効果が見込まれるそうです。また、発電に伴う売電収入は、稲生川土地改良区が管理する農業水利施設の維持管理費や補償費に活用され、農家の負担軽減が図られているそうです。

今回の大会に参加し、“農林水産業を支えることは地域の環境を守ることに繋がる”という認識を新たにしました。

最後に千葉県からの土地改良事業功績者表彰受賞者に改めましてお祝いを申し上げるとともに、本大会の準備・運営をしていただいた青森県土地改良事業団体連合会はじめ関係者の皆様には大変お世話になり、本誌面をお借りして感謝を申し上げます。



新青森県総合運動公園マエダアリーナにて

第22回

# 美しい農村環境 写真コンテスト募集中!

Beautiful farm village environment

応募締切

平成28年

6月15日



テーマ

## 誰もが住んでみたい 美しい農村環境

あなたが見つけた美しい農村や農村環境、  
農村におけるさまざまな活動を写真におさめてみませんか。

### 各賞

- 千葉県知事賞 ..... 1点(賞状・副賞)
- 千葉県土連会長賞 ..... 1点(賞状・副賞)
- 特別賞 3点(賞状・副賞) ■金賞 1点(賞状・副賞)
- 銀賞 2点(賞状・副賞) ■銅賞 3点(賞状・副賞)
- 佳作 数点(賞状・副賞) ■参加賞 応募者全員に粗品進呈

### 応募要領

- 応募資格 千葉県在住または在勤の方
- 応募規定 千葉県内で撮影したもの
- 応募作品について
  - ・カラープリントの単写真に限ります。・応募は未発表のもので1人3作品までとします。
  - ・写真サイズは四切り(ワイド可)・A4とします。
  - ・合成写真や過度の画像補正を行った実像に反する写真は応募できません。
  - ・人物が被写体の場合は、応募者の責任により肖像権に触れないようにして下さい。
  - ・応募の際は応募票に記入し、応募作品の裏に貼り付けて下さい。(応募票はコピーでも可)
- 入賞について
  - ・入賞作品は1人1点までとします。(佳作はこれに限りません)
  - ・応募作品の著作権は撮影者に帰属します。
  - ・入賞作品は、主催者が開催する展示会のほか、広報のためにポスター・チラシ・ホームページなどで使用することがあります。
  - ・入賞作品以外の応募作品も、上記展示会において展示することがあります。
  - ・入賞作品は原版を後日提出してもらいます。(デジタルカメラの場合はオリジナルデータをCD-R等にコピーしたもの)

### 応募締切

平成28年6月15日(当日消印有効)

[応募先] 〒261-0002 千葉市美浜区新港249-5  
 水土里ネット千葉(千葉県土地改良事業団体連合会)  
 管理指導部 TEL 043-241-1728(直通)

- 注意  
事項
- ・応募作品は原則として返却いたしません。返却を希望する場合は、送料相当分の切手と返信用の封筒を同封して下さい。(同封がないときには着払いで返却します。)
  - ・複数の作品を応募する際には、それぞれの作品に汚れや傷が付かないように十分注意して封筒等に入れ、送付して下さい。
  - ・応募作品の取扱いには十分注意いたしますが、汚れ、破損等、万一の事故に対する責任は負いかねますので、ご了承下さい。
  - ・応募票に記入していただいた情報は、個人情報保護方針に基づき適正に取り扱いたします。

水土里ネットちば 308号 (平成27年11月発行)



#### 発行

水土里ネット千葉(千葉県土地改良事業団体連合会)  
 〒261-0002 千葉市美浜区新港249番地5  
 TEL.043-241-1711(代) / FAX.043-248-2563(代)

#### 印刷

株式会社ニッセイアド  
 〒264-0026 千葉市若葉区西都賀4-18-3  
 TEL.043-206-7752 / FAX.043-206-7753